

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

令和7年度技術情報について

令和7年度技術情報第5号を発表したので送付します。

令和7年度技術情報第5号

令和8年3月5日
徳 島 県

2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬調査において、越冬成虫数が平年及び前年に比べて多く確認されました。

今後、気温の上昇とともに成虫の活動開始時期が早まり、ウメ、モモ等への飛来数も増加することが予想されます。

このことから、病害虫防除所が発表する発生予察情報等を随時確認し、栽培園地への飛来状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名：果樹全般（特に、ウメ、モモ、ナシ）

病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ等）

発生地域：県全体

1. 越冬状況

- (1) 2月に実施したチャバネアオカメムシ(図1)の越冬調査(11地点×2か所調査)では、成虫数が4.7頭/㎡と、平年(3.1頭/㎡)及び前年(0.2頭/㎡)に比べて高い越冬密度であった(表1、図2)。
- (2) 勝浦町山溪は、成虫数が20.5頭/㎡と平年(6.8頭/㎡)及び前年(0.5頭/㎡)に比べて高く、神山町阿野船底(二宮)は、成虫数が11.5頭/㎡と平年(2.1頭/㎡)及び前年(0.5頭/㎡)に比べて高かった(表1)。
- (3) 越冬確認地点率は、72.7%であり、平年(60.9%)及び前年(45.5%)より高かった。



図1 チャバネアオカメムシ

表1 果樹カメムシ（チャバネアオカメムシ）越冬数調査結果

| 調査場所 | 越冬成虫数(頭)/1㎡落葉中 | | |
|-------------|----------------|------|------|
| | R8 | R7 | 平年 |
| 徳島市八多町 | 8.0 | 0 | 12.6 |
| 徳島市多家良町 | 4.5 | 0 | 3.1 |
| 徳島市上八万町 | 0.5 | 0.5 | 0.6 |
| 阿南市加茂町 | 0.5 | 0.5 | 1.3 |
| 阿南市山口町 | 0.5 | 0 | 0.6 |
| 勝浦町三溪 | 20.5 | 0.5 | 6.8 |
| 佐那河内村下 | 5.5 | 0 | 5.4 |
| 神山町阿野長谷 | 0 | 0 | 0.3 |
| 神山町阿野船底 | 11.5 | 0.5 | 2.1 |
| 阿波市土成 | 0 | 0 | 0.3 |
| 阿波市宮川内 | 0 | 0 | 0.9 |
| 平均(各年捕獲数より) | 4.7 | 0.2 | 3.1 |
| 越冬確認地点率(%) | 72.7 | 45.5 | 60.9 |

※平年は過去10年間の平年値

(頭/1㎡落葉)

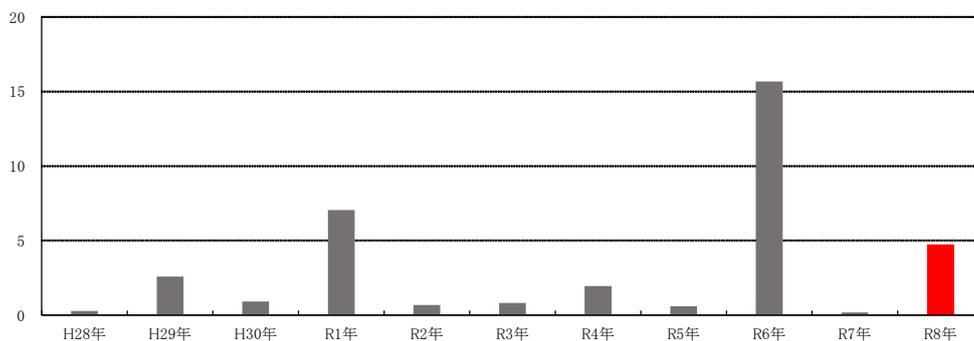


図2 チャバネアオカメムシの越冬数調査 (県全体)

2. 昨年の発生状況

昨年の予察灯誘殺数は、チャバネアオカメムシは勝浦町では、平年並または平年より少なく推移したが、上板町では10月は平年より多く誘殺された(表2)。ツヤアオカメムシは両調査地点で平年並または平年より少なく推移した(表3)。クサギカメムシは、勝浦町では8、9月は平年より多く推移し、上板町では、平年並に推移した(表4)。

また、8月第5、6半旬における3種の果樹カメムシ類が平年より多く誘殺されたため、9月8日に注意報を発令した。

表2 チャバネアオカメムシの誘殺数

| 月 | 勝浦町 | | | 上板町 | | |
|----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|
| | 2025年 | 2024年 | 平年 | 2025年 | 2024年 | 平年 |
| 8 | 616 | 1258 | 825 | 108 | 1919 | 350 |
| 9 | 813 | 590 | 658 | 196 | 364 | 220 |
| 10 | 15 | 81 | 208 | 158 | 63 | 30 |
| 11 | 2 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 |

表3 ツヤアオカメムシの誘殺数

| 月 | 勝浦町 | | | 上板町 | | |
|----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|
| | 2025年 | 2024年 | 平年 | 2025年 | 2024年 | 平年 |
| 8 | 388 | 105 | 461 | 18 | 318 | 125 |
| 9 | 379 | 76 | 413 | 118 | 129 | 145 |
| 10 | 29 | 48 | 316 | 199 | 24 | 142 |
| 11 | 1 | 13 | 25 | 8 | 7 | 14 |

表4 クサギカメムシの誘殺数

| 月 | 勝浦町 | | | 上板町 | | |
|----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|
| | 2025年 | 2024年 | 平年 | 2025年 | 2024年 | 平年 |
| 8 | 831 | 503 | 186 | 90 | 818 | 111 |
| 9 | 212 | 28 | 20 | 22 | 14 | 15 |
| 10 | 7 | 4 | 2 | 2 | 5 | 1 |
| 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |

3. 防除法等

- (1) 果樹園周辺の山林や雑木林から成虫が飛来してくるので、園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行う。
- (2) モモ、ナシでは、早めに袋掛けを終える。
- (3) 夕方から夜間を中心に活動するため、夕方に薬剤散布を行うと効果が高い。
- (4) 移動性が高いので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。
- (5) 飛来が続く場合は、継続的な防除が必要で、合成ピレスロイド系剤(I R A C コード：3 A)は、多発時の防除に適するが、天敵類に影響を及ぼすので同系薬剤を散布した後は、ハダニ類やカイガラムシ類の発生に注意するとともに、多用しない。
- (6) 薬剤を散布する場合は、風向きに注意し、圃場周辺への薬剤飛散防止に努める。
なお、風の強い日の散布は控える。
- (7) 例年発生が多い園地では、多目的防災網又は防虫ネットを設置する。
- (8) 今後の発生動向については、農林水産総合技術支援センターウェブページ内、病害虫防除所の各種データ(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujoshovarious-data/preliminary-guess-light/>)を参考にする。
- (9) 防除については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。
(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/tokushima>)

○徳島県内の病害虫の発生予察情報、発生状況、防除法等をお知らせしています。

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所

所在地 〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井1660

電話 088-674-1954 ファクシミリ 088-674-3114

URL : <https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujoshovarious-data/preliminary-guess-light/>